

この度は、弊社の「崖っぶちシリーズ 数学 III の微分積分の検定外教科書 改定第三版」におきまして、下記の通りの誤りがございました。皆様にはご迷惑をおかけしますことをお詫びいたします。

(最終更新 2022 年 7 月 15 日)

## 正誤表

### 第三版

ページ	箇所	誤	正
P.125	問 50 左側 21, 23 行目 (考え方 (2))	$\frac{x}{(x+1)(x+2)}$	$\frac{x}{(x-1)(x+2)}$
P.127	問 52 (5) 左側下から 2 行 目	$\sqrt{2x+1}$	$\frac{1}{\sqrt{2x+1}}$
P.93	問 39 「注意 1」 8 行目	である。 $2 < c < 4$ は、	である。 $2 < a < 4$ は、
P.139	問 62 問題文 2 行目	$a, b$ は定数である。	$a, b$ は 0 でない定数である。

第二版以前の誤りは [http://hocsom.com/seigo/seigo\\_su3\\_180120.pdf](http://hocsom.com/seigo/seigo_su3_180120.pdf) にて掲載しております。後に判明した誤りにつきましては以下に掲載いたします。皆様にはご迷惑をおかけしますことをお詫びいたします。(最終更新 2020/10/14)

### 第二版

ページ	箇所	誤	正
P.33	ロールの定理 左側 6 行目	微分可能な関数は連続だから、最大値が存在し	閉区間で連続だから、最大値が存在し、それはいま、端以外で与えられるから
P.68	図 e5 中	$e^{\frac{1}{e}}$	$\frac{1}{e^e}$ (第三版 p71 では訂正済)

### 初版

ページ	箇所	誤	正
P.60	定義 5・変曲点 (a)1 行目	$f''(x)$ が 2 回微分可能な場合	$f(x)$ が 2 回微分可能な場合